

# マスターズ甲子園2022和歌山大会 大会概要

- 趣 旨： 和歌山県の高校硬式野球部OB・OGに、かつて抱いていた「甲子園へ」という夢を再燃させながら、これまであまり活動機会に恵まれなかった『硬式野球』を生涯通して楽しむ機会を創出し、和歌山のスポーツを、和歌山を、オトナの野球・マスターズ野球で盛り上げることを目的とします。
- 主 催： マスターズ甲子園和歌山支部
- 共 催： 朝日新聞社和歌山総局
- 後 援： 和歌山県、和歌山県教育委員会
- 日 時： 4月10日(日)、~~4月24日(日)~~、6月5日(日)、6月19日(日)、7月10日(日)、  
＜準決勝・決勝＞  
7月31日(日)
- 会 場： 県営紀三井寺公園野球場

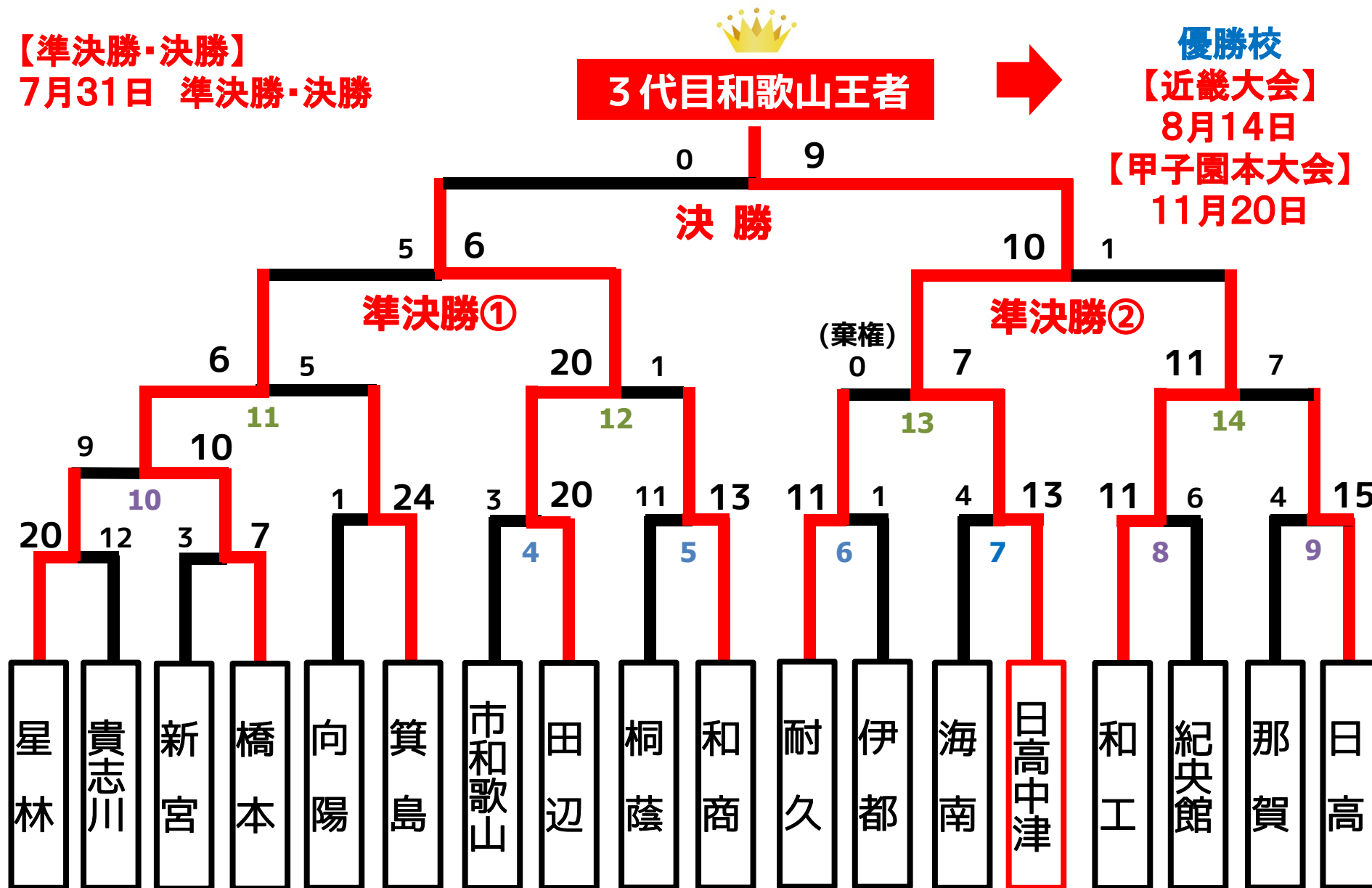


# マスターズ甲子園2022和歌山大会

【準決勝・決勝】  
7月31日 準決勝・決勝

3代目和歌山王者

優勝校  
【近畿大会】  
8月14日  
【甲子園本大会】  
11月20日



# マスターズ甲子園2022和歌山大会スケジュール

	大会初日 4月10日(日) 紀三井寺	大会2日目 6月5日(日) 紀三井寺	大会3日目 6月19日(日) 紀三井寺	大会4日目 7月10日(日) 紀三井寺	準決勝・決勝 7月31日(日) 紀三井寺
	9:00～ 開会式				
第1試合	9:40～ 1	9:00～ 8	9:00～ 4	9:00～ 11	9:00～ 準決勝①
第2試合	11:50～ 2	11:10～ 9	11:10～ 5	11:10～ 12	11:10～ 準決勝②
第3試合	14:00～ 3	13:20～ 10	13:20～ 6	13:20～ 13	14:00～ 決勝
第4試合			15:30～ 7	15:30～ 14	閉会式
第5試合					

# マスターズ甲子園2022和歌山大会 試合規則①

公認野球規則・アマチュア野球内規・高校野球特別規則、ならびにマスターズ甲子園和歌山大会試合規則による。  
ただし、コールドゲームは適用しない。

## ①出場選手と出場チームについて

- 1) 出場選手は元高校硬式野球部関係者（高校野球部部員、監督、部長、コーチ、マネージャーのOB・OG）であること。OB・OGとは高校野球部に一時期でも在籍したことのある者とする。
- 2) 出場選手は大学野球（準硬式を含む）、社会人野球（企業チーム・クラブチーム）の現役選手、ならびに現役のプロ野球関係者ではないこと。女性選手の場合も同様とする。これらのOB・OGであるか、以下の場合については出場を認める。
  - ①軟式野球の現役選手である場合。
  - ②大学野球、社会人野球の関係者（監督・部長・コーチ・マネージャー）である場合。ただし選手兼任の場合は不可。
- 3) 試合に出場するチームは、主催団体であるマスターズ甲子園和歌山支部ならびに全国高校野球OBクラブ連合に加盟しているOB校に限る。
- 4) 年齢については、開催年の4月1日時点を基準とする。ただし、34歳以下の選手の代わりに35歳以上の選手をもって充てることができる。その選手は5回以降も出場可能とする。
- 5) ベンチ登録者は、監督・部長・コーチ・代表者・マネージャーを含めて最大50名までとし、登録者は全員が試合に出場することができる。なお、各試合ごとに登録メンバーを変更できることとし、その登録者については、当該試合の1週間前までに事務局へ提出することとする。
- 6) 現役の高校野球指導者・関係者（監督・部長）が登録する場合には、「都道府県高野連届出書」に必要事項を個別に記入しその地方の都道府県高等学校野球連盟に許可を事前に得ること。（日本学生野球憲章・アマチュア問答集に基づく）

## ②投手規定

- 1) 34歳以下のイニングでは27歳以上とする。
- 2) 全て2イニング以内の登板とする（6アウトではない）。なお、34歳以下のチーム（35歳以上も出場可）及び35歳以上のチームの両方で登板する場合でも通算2イニングとする。

## ③試合方法・時間

- 1) 9イニング制とする（時間制限あり）。
- 2) 1回から5回までを34歳以下のチームで闘い、6回以降9回までを35歳以上のチームで戦う。6回以降は新たに1番打者から試合を行なう。ただし、34歳以下のプレータイム中、45分を経過した時点で、5回を消化していなくても、次のイニングから6回表をスタートし、35歳以上のチームで新たに1番打者から試合を行なう。9回終了まで、もしくは6回表の攻撃開始時点から45分を経過した時点で次のイニングに入らずに終了とする。各年齢層でのプレータイムがそれぞれ45分を過ぎ新しいイニングに入らないことになっても、そのイニングは最後まで執り行なうこととする。なお、6回以降でケガやその他の事情により試合の続行が困難な場合に限り、一度交代してベンチに下がった35歳以上の選手の再出場を認める。

# マスターズ甲子園2022和歌山大会 試合規則②

- 3) 各チームは、34歳以下のチームと35歳以上のチームのそれぞれのスターティングメンバーシートを3枚ずつ計6枚を、指定された時間に係の者に提出すること。スターティングメンバーシートはマスターズ甲子園専用のもを使用し事前に配布する。メンバーシートの交換は、1つ前の試合の35歳以上のプレーが始まった後に執り行なう。第一試合については試合開始の45分前とする。
- 4) 試合終了時に同点の場合は、タイブレーク（1アウト満塁）を行なう。その際、35歳以上のプレータイムに余裕があれば、制限時間いっぱいまで繰り返し行なうこととする。それでも決着がつかない場合は、代表9名によるじゃんけんで決着をつける。なお、準決勝・決勝については、決着がつくまで繰り返し行なうこととする。

## ④DH制

DH制採用は各チームの選択による。

\*ただし、公認野球規則・アマチュア野球内規・高校野球特別規則に則り、投手以外の指名打者については認めない。

## ⑤試合球

高校野球硬式試合球を使用する。メーカーは問わないが認定公式試合球を使用する。

なお、予選開催時に、各チーム1ダースずつ持ち寄ることとする。

\*新規参加校については、2ダースを持ち寄ることとする。

## ⑥バット

マスターズ甲子園実行委員会が承認する硬式用金属バットを使用する（2種類）。

コンポジットバットまたは木製バットの使用も可。

## ⑦用具・ユニフォーム・その他

- 1) 硬式野球用具を使用すること。用具は全てチームで持参すること。
- 2) 上下野球ユニフォームを着用し、着帽のこと。
- 3) 金属スパイクの使用は認める。
- 4) 試合中、打者・走者およびベースコーチは必ずヘルメットを着用すること。

注：マスターズ甲子園本大会出場の際には、母校ユニフォームと同じまたは過去のデザインのもを着用することになります。

### 【試合運営について】

- 試合前の先攻・後攻の決定は、試合開始1時間前に事務局スタッフの立会の下、じゃんけんで決定する
- グラウンド内のボールボーイは、試合中の両チームが行なうこととする
- 試合の進行（BSO、スコアボード、タイムキーパー、審判へのお茶出し、グラウンド外のボールキーパー等）については、
  - ①3試合の場合、1試合目を2試合目のチームが、2試合目を3試合目のチームが、3試合目を1試合目のチームが担当し、
  - ②4試合の場合、1試合目を3試合目のチームが、2試合目を4試合目のチームが、3試合目を1試合目のチームが、4試合目を2試合目のチームが、それぞれ担当することとする
- ウグイス嬢によるアナウンスは、決勝戦のみとする